

ポスターデザインの制作報告 (デザインのコンセプトや工夫した点など)

ポスターデザイン	制作報告
	私がポスターを制作する際に、まずどの層に市会のことを知ってもらおうか考え、自分と年代が近い人達を対象にデザインしました。市会の方々にお話を伺った時に、私を含め、若者の市会に対する意識や認知度が低いと思い、少しでも興味を持って見ようとしたり、調べてもらえたりするようにしようと思いました。制服にすることで、親しみやすさを感じやすくし、さらにスマホで見られると言うことを伝えるために、スマホで映像を見ていたり、中心に「スマホでも、どこでも」という文章を配置したりしました。2人が目立てるように、背景をシンプルにしたり、配色に気をつけたりしました。
	作品を作るにあたって、1番伝えたい事が「実際に見聞きして知ること」だったので、背景は作らず、文字や人を目立たせるようなシンプルで見やすいデザインにしました。工夫した点は、注目して見ているように、指の輪っかから市会を見つめるようにし、集中して聞いているように、少しうつむき、耳に手を当てさせたところです。また、情報は中央にまとめて横書きに、伝えたいメッセージは縦書きにして、見やすくそして伝わりやすくしました。駅に貼ってあっても伝えたいことはすぐに見えるように文字は大きくし、図書館などに貼ってあっても騒がしくなく、その空間を損なわない落ち着いた色のデザインにしました。
	作品の制作の意図としては、駅などに掲示されると聞いたので、壁に寄りかかりながら、スマホで市会の傍聴をしている人をイメージしました。そして、その人の目には、人間にあるはずのない二次元コードをはめ込みました。「この二次元コードはなんだろう？」と見る人に感じさせ、読み込んでもらうことで、市会を知ってもらいたいと思ったからです。名城線の紫色と、その反対色の黄色を使うことで、さりげなく目を引く色使いにしました。日常生活でよく利用する駅などの公共施設に溶け込むように、主張はするという意識をしながら制作させていただきました。

ポスターデザイン	制作報告
	このポスターを作るにあたり、議会の机をのぞいている少女を中心に大きく置くことにより、通りすがりにポスターを見た人が少しのぞいてみようかなという気持ちになれるようなデザインとなるよう制作しました。委員会室での馬の蹄を模した机が個人的に印象に残っており、実際に使われる議会の机をのぞくことで傍聴しているように見せました。今回の市会見学を通し、名古屋に住んでいる方や学校などのために、たくさんの活動をしてくださっていることを知ることができたので、たくさんの方に伝わるように机と少女のみを大きく描き、目に入りやすいようにしました。
	私は名古屋市会をより多くの人に伝えるには「目を引く」ということが大切と思い、ポスターの中央に大きなきしめんを置く構図にしました。きしめんにした理由は、きしめんは親しみのある名古屋名物であり、幅広くコシのある食べ物であるからです。名古屋市会をきしめんにならべて、「幅広く、コシのある政治」というコンセプトで作りました。このコンセプトには市会の「市民の様々な要望や意見に対応する取り組み」、また、「真面目さ」や「誠実さ」といったことが伝わって欲しいという思いを込めました。また、きしめんにならべることで少しでも市会を身近に感じて欲しいという思いも込めました。
	市会の方にお話を聞いた際、一番印象に残ったものが「トイレ」についてです。市会での議論の結果、市内の学校のトイレが綺麗になったんだよと冗談交じりにお話してくれたのですが、「トイレ」という身近なこともあってか凄く印象に残りました。市会について沢山の方に知ってもらうため、また、私のような同年代に興味を持ってもらうため、インパクトのあるトイレをモチーフに制作を行いました。トイレ＝汚いという印象になるのを避けるため、さわやかな水色を主に使用し、清潔感のあるポスターにするのを心がけました。また市会を身近に感じてもらうため、堅苦しくない丸文字を使用し、誰でも気軽に市会を触れてもらえるような工夫を施しました。

ポスターデザイン	制作報告
	私のポスターのコンセプトは「多くの人に見てもらえるようなポスター」です。まず、このポスターを見たときに、一番伝えたい「市会」という文字に目がいくよう、字周辺を白にして強調し、人の目の位置に置くことで自然と引き込まれるようにしました。そして目に留まりやすい青と黄の色の対比を作り、それでいて落ち着いて信頼感のある色使いを意識しました。さらにシンプルなデザインにすることで老若男女に興味を持ってもらえたら良いなと思っています。ポスターの顔の眉毛にはシャチホコを採用し、名古屋市民に親しみをもってもらえるよう、工夫しました。
	ポスターを制作するにあたって、親しみやすく目に留まるデザインにすることと、市会の方からお話があったように、スマホでも市会の様子が見れるということをコンセプトにデザインをしました。構図の意図としては、スマホを持って市会の様子の映像を見させている形にすることにより、市会のことを1人の人のスマホから広めるという意味を込めました。工夫した点は、スマホの中の市会の中の様子の制作、背景を誘目性が高いオレンジや黄色等の色合いを選び、多くの人目に留まるようにしたことです。多くの人にポスターやスマホから名古屋市会のことを知ってもらいたいです。
	今回作成したポスターデザインで、最も伝えたいと考えたことは「名古屋市会というものがある」ということです。まず、名古屋市会を知ってもらうために、ポスターの構図を大胆にして目に留まりやすくなるようにしました。中央にアップの困った様子の人を配置し、周りにいろいろな向きや大きさの文字を入れるなどしてただならぬ雰囲気になりました。また、市会では名古屋市民の様々な要望を実現しようとしていることを伝えるために、疑問を持たせるような、少し考えてしまうようなキャッチフレーズを入れました。このような創意工夫によりデザインされたこのポスターで、一人でも多くの名古屋市民の生活を少しでも良くできればいいなと思います。

ポスターデザイン	制作報告
	なぜ傍聴をするべきなのかが伝わるようなポスターを目指して制作しました。今までは傍聴することでどんなメリットがあるのかが分からず、重要なことではないと考えていました。ですが今回のポスター制作にあたって、市会についてのお話を伺ったときに自分の中で傍聴する意義を見出すことができ、他の名古屋市民の方にも傍聴することや市会と関わることの大切さを感じてほしいと考えたので、それがポスターを見た人に届いたら良いなと思います。キャッチフレーズは市会と視界をかけ、自分達次第で名古屋市がより良い都市になると訴えかけるような言葉にし、構図は学生が傍聴席から議場を通して名古屋を見据えている様子にしました。
	今回のポスター制作において、まずは目に入って欲しいと思ったので、白と黒を基調とした、インパクトがありつつ小さい子供やお年寄りの方まで理解しやすいデザインにしました。名古屋市区を表す丸八マークと人を一筆で描いたようなデザインと、キャッチコピーの「知る、つながる。」には、名古屋市区のことを知ると自分と市区がつながる、そして自分が住んできた名古屋の街と名古屋市区の取り組みがつながるという意味を込めています。丸八マークと人のロゴやキャッチコピーの線は少しギザギザにして手書き感を演出し、白黒ながらも碎けた雰囲気仕上げました。このポスターを見てくださった方が名古屋市区の存在を知って、つながっていったらいいなと思います。
	ポスター制作するにあたって、多くの人に名古屋市区は名古屋のまちづくりについて議論していることを知って欲しくて、このポスターを作りました。そのため、名古屋の建物と市区をポスターに入れました。建物は名古屋にある有名な建物で、左からミッドランドスクエア、東山スカイタワー、名古屋科学館、名古屋市区、オアシス 21、ナナちゃん人形、中部電力 MIRAI TOWER、JR セントラルタワーズをイメージしています。奥行きのある構図にして目に止まるようなデザインにしました。このポスターは11月に掲載されると聞いたため、秋を思わせるような夕焼けの背景にして、ビルの窓が太陽に反射し赤くなっているのが工夫点です。キャッチフレーズは名古屋弁にして名古屋に住んでいる方に親しみやすいイメージを持たせました。